

様式第 4 号

議事録又は議事概要

会 議 名	美浦村社会教育委員会議兼公民館運営審議会
開 催 日 時	平成 3 0 年 9 月 2 8 日 (金) 午後 1 時 3 0 分
開 催 場 所	美浦村中央公民館 2 階 会議室
議 題	(1) 政策提言テーマについて (2) 美浦村教育振興基本計画見直しについて (3) その他
公開・非公開の別	公開
傍聴人定数・傍聴人数	傍聴人定数 6 名・傍聴人数 0 名
審 議 内 容	<p>(1) 政策提言テーマについて</p> <p>○政策提言テーマの募集を行ったが、範囲が大きく、多くのテーマが出るには至らなかった。このことを踏まえ、本日、事務局から課題提案を受け、複数の案件の中から議論を深めていきたい。</p> <p>○委員各位からテーマを出していただき、政策提言を行うことが良いと考える。また、委員提案とするのか、事務局からの提案を元に進めていくのか、確認したい。</p> <p>○事務局としては、委員の皆さままで協議いただいて一つのテーマに絞り、そのテーマに沿って事務局を交えて議論していただきたい。事務局としては、3 つ程度の案を出していただき、その中から 1 つに絞るという手法が良いと考えている。</p> <p>○テーマに対する資料等を委員がどれだけ持っているかが不明であることから、事務局より必要な資料を示してもらい、それを元に議論し、再び不明な点があれば事務局に資料の提出を求めるといった流れを繰り返すべき。</p> <p>○政策提言といっても、漠然としており、テーマを絞るのは難しい。中央公民館・生涯学習課において懸案となっている事例・課題を出していただくほうが良い。例えば、文化講座であるが、近年は参加される方の人数が減っているように見受けられる。若い方向けの講座が多いように思われ、もっと幅広い年齢層の方が受講できるような内容の講座が必要ではないか。</p> <p>案件 1 地域未来塾について</p> <p>昨年度より実施している「地域未来塾」について、中学生を対象として無料の学習塾を実施しているが、学習内容の難しくなる小学 4 年生から</p>

を対象としたほうが効果が得られることから、将来的には対象者を小学生に拡大したいと考えるが、実施場所の確保や保護者に送迎していただくといった懸案事項がある。

Q. 本事業の予算はどのくらいか。また、その用途は。

A. 平成29年度は約100万円で、そのほとんどが講師に対する人件費である。

Q. どのような方々が講師になられているのか。

A. 教員OB、学校講師、塾講師など、有償ボランティアの方をお願いしている。

Q. 一回当たりの講師数は。

A. 3～4人である。

Q. 参加者数は。

A. 29年度は登録者36名、本年度は39名である。

Q. 村予算が厳しい状況の中で、補助金がなくなった際の対応は。

A. その分を村が負担し、引き続き実施する予定。

Q. これから日没が早くなるが、中学生の帰宅方法は。

A. 保護者に送迎をお願いしたいと考える。

Q. 本事業を小学生に拡大させるに当たっての問題点は。

A. 送迎の方法及び実施場所が一番の問題である。

Q. 想定する小学生の対象学年は。

A. 4年生からが適当であると考え。

Q. 小学校における英語教育の内容は。

A. 5・6年生は教科、3、4年生が外国語活動として実施している。

○かねてより3、4年生の教育活動の充実が叫ばれているが、教員の配置等、本村に関わらず実現できていないところがあることから、本事業がその一助となればよい。

Q. 本件について教育委員会等で協議したことはあるか。

A. 昨年、村議会において質問が出されたことがあり、現状においては交通手段及び講師の確保が難しく、また、中学生向けの事業が1年目であったことから、将来的に検討していくとの答弁をしている。

○中学生向けの事業が軌道に乗ったとはいえ、あと2、3年は様子を見ても良い。

○金銭的な問題、人的な問題がクリアになった上で、内容についての協議

をすべきである。

○社会教育委員ひとりひとりが「何ができるか」を考え、協議していくべきである。

○本事業の実施に係る問題点（送迎が必要、等）、を明記した上でアンケートを実施してはどうか。

○アンケートのたたき台を作成し、次回会議で検討するべき。

○次回会議までに委員各位よりテーマをいただく。資料については事前に送付し、課題を持って会議に臨んでいただく事とする。

#### 案件2 文化講座、美浦大学について

○公民館入り口に設置しているアンケートについて、他の場所に設置すべき。また、内容について検討しても良いのでは。

○文化講座約20講座、平成29年度実績で208名の参加者のうち、①初回受講②リピート③複数受講の方といった分析を進めると共に、幅広く村民が参加できる講座を実施するにはどうしたらよいかを考察する必要がある。

○なるべく多くの方に参加いただくという観点から、過去に初回受講者を優先とし複数年受講しにくい要項とした。合わせて、数より質を重視し内容を充実させてきた。

見学箇所について、定員60名を受け入れていただけたところが少ない事からも、30名としバス一台とするのもよい。

Q. 講座の選定方法は。

A. 次年度の講座について事務局で原案を作成し、公民館運営審議会において承認いただいている。

Q. 昨年度の新規受講者数は。

A. 開設20講座のうち、新規受講者46名、複数年受講者162名。

Q. 同好会移行に係る規定はないか。

A. 規定はないが、講座開講年は3年までとなっている。事務局としては講座終了後は同好会として活動していただきたいと考えている。

Q. 同じ方が3年以上講師を務めることはあるか。

A. 同じ講師に別の講座をお願いすることもあり、3年以上お願いしている方もいる。

Q. 講師が同じであっても講座名が変われば新規講座とするのか。

A. 講師選定に当たっては、慣れた方や県の情報を元に行っている。従っ

	<p>て、同じ方が継続する場合もあり、内容が変われば新規講座としている。</p> <p>○複数年受講を希望する方がいないようでは講座の魅力がないということであり、希望者が出るのは別の意味で良い事である。内容を充実させ、定員を増やし、また、受講希望者が多いのであれば3年を超えて開講することも考慮する必要があるのではないか。</p> <p>○長く続けている同好会に加入してくれる方がいない。流行の講座だけではなく、かつて行っていた講座を再度開講し、新規の方を確保してはどうか。</p> <p>Q. 地区に対しアンケートを行ってはどうか。 A. 実施は難しい。</p> <p>○本日、政策提言テーマを決めるのでなければ、会議時間も長くなっているので次回以降に再度協議してはどうか。</p> <p>○単発の講座や、公民館内だけでなく屋外での講座（現地集合・解散）があっても良い。</p> <p>○委員各位にあっては、どのような講座があったらやってみたいか、周りに声がけしていただけると良い。</p> <p>○自分のための講座だけでなく、家族に還元できるような内容の講座があっても良い。</p> <p>○現在、次年度の講師希望者の募集を行っており、次回の会議でお示したい。</p> <p>（2）美浦村教育振興基本計画見直しについて</p> <p>○内容説明</p> <p>○委員各位の立場でご意見及び達成度の記入、提出をいただきたい。</p> <p>（3）その他</p> <p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城県社会教育委員連絡協議会第2回研修会について</li> <li>・郡市社会教育委員連絡協議会第2回研修会について</li> <li>・各種イベントの開催について</li> </ul>
<p>そ の 他</p>	
<p>問 合 せ 先</p>	<p>美浦村教育委員会 生涯学習課 電話 029-885-4451 担当 正慶</p>